

発達障がい者就業支援コーディネーター事業コラボ企画 1

平成28年度「こころとからだのワークショップ」経過報告

1. 目的

発達障がいがある成人期の方たちが小グループで感情やそのコントロール方法、感情とからだのつながり等についてともに学び、からだを動かすことによるリラックス効果や楽しさを体験する、また、自分の得意・不得意について話し合う機会を設定することにより、就労するために大切な「健康維持」や「感情のコントロール」「自己理解」への気づきと日常での工夫実施のきっかけとすることを目指す。

2. 参加者

平成28年度、発達障がい者就労支援コーディネーターおよび大阪市発達障がい者支援センターに就労を目的に相談来所され、まだ就労支援機関の利用に至っていない、成人期の発達障がいの当事者3名（在宅、男性3名、20歳、21歳、30歳；平均年齢23.7歳）。もう1名はバイトが決まったため参加されなかった。今年度はグループワークに参加できそうな対象の方が少なかったため、3名での実施となった。

3. 実施頻度・場所

- ・実施頻度 … 10/31～3/13 連続6回（1/M）中、4回終了
- ・実施場所 … 長居障がい者スポーツセンター等

4. 方法・内容

- ①方法 … グループワーク（GW）＋からだを動かす体験
  - ・GW：ワークシート活用による学習、話し合い
  - ・からだを動かす体験：深呼吸＋ストレッチ、軽スポーツ（Fホッケー、ボッチャなど）

②GW内容…

- 1回目 自己紹介、感情学習（よろこび・リラックス）、  
きっかけカード・楽しいことの本・コーピンググッズの紹介、好きなこと探し
- 2回目 感情学習（うれしい・リラックスした）（どんな時に・からだの状態）、  
脳内ホルモンの話、感情修復ツール（きっかけカード：好きなものの写真など）の作成・紹介
- 3回目 うれしいこと日記、感情学習（不安・怒り）（どんな時・からだの状態）、  
感情修復ツールの作成・紹介
- 4回目 うれしいこと日記、きっかけカードを使ってみた感想、不安を減らすのに役立つ活動、  
感情修復ツールの作成・紹介
- 5回目 うれしいこと日記、感情修復ツールを使ってみた感想、  
感情修復ツール（ツールボックス）の作成、からだを動かす体験
- 6回目 うれしいこと日記、感情修復ツール（ツールボックス）を使ってみた感想、  
マイナス⇒プラス変換ワーク

5. 効果検証

① アンケート結果（毎回参加者全員に実施）など

参加者2名については、GWとからだを動かす体験の役立ち度・理解度の評価は、4段階評価で3（役に立った・わかりやすかった）または4（とても役に立った・とてもわかりやすかった）であり、からだを動かす体験の評価は両者ともに高かった。残り1名は、ワークショップへの参加は楽しい、次回も参加したい、との感想であるものの、GWについては少しわかりにくい（2）との評価であった。

② 4回目までの感想（抜粋）

・久しぶりにからだを動かせて良かった。 ・ボッチャがすごく楽しかった。 ・また参加したい。

③ 現在取り組んでいること … 感情修復ツール（きっかけカードなど）の使用練習  
ツールボックスの作成

6. 今後の課題

- ・GW参加対象者の確保（募集方法）
- ・GWの普及～実施希望がある支援者の参加
- ・研修も考えていく

発達障がい者就業支援コーディネーター事業コラボ企画 2

平成28年度 発達障がいがある学生等の就労準備支援事業 経過報告

1. 目的

大学や専門学校を卒業後、社会との繋がりが持てないまま無業状態に陥り相談先とする成人期の方の中には、アルバイトなどの就業経験がなく、卒業後の進路としての就業のイメージが持てず就職活動がうまくいかなかった事例が多い。学生支援室や進路指導担当部との連携のもと、発達障がいがある学生が在学中に発達障がいの特性をふまえた講座や企業での実習体験を含む就労準備支援プログラムに参加することにより、就業イメージを持つこと、就労意欲を向上させること、各自に合った職業の選択を考えるきっかけとすることとし、困った時の対応や工夫を知り就労に向けた課題整理をおこなうきっかけとなることをめざす。また、学生支援者が発達障がいへの正しい理解と適切な対応への工夫を知り、障がい特性に配慮しながら進路指導等をおこなうための一助となるよう、また、結果として卒業後の無業状態を回避することを目指す。

2. 対象者

連携する大学等（大阪市立大学、他）に在学中の発達障がいがある学生、学生支援者

3. 実施期間・場所

- ・実施期間…7月～2月（ガイダンス、自己理解等講座、企業見学・実習等）
- ・実施場所…連携就労移行支援事業所（サテライトオフィス平野）、協力企業（仕事体験、企業実習）

4. 事業内容・実施経過・参加状況

<発達障がいがある学生等>

- ① ガイダンス+先輩の体験談：「就労について語ろう会」7月、8月、12月実施  
→ 学生8名（2回生×1、3回生×5、4回生×1、新卒×1）  
+支援者（就職課）1名参加
- ② 講座受講：「自己理解講座」「社会人マナー講座」「SST」など → 学生2名参加
- ③ 「企業見学」 ①特例子会社×1社 → 学生2名+支援者（就職担当）1名参加  
②一般企業（障がい者雇用）→ 春休み中に実施予定
- ④ 「企業実習」 → 今のところ希望者なし
- ⑤ ふりかえり：「就労に向けた課題整理」 → 個別に実施

<学生支援者等>

- ・連携先大学教職員～大阪市立大学：学内の学生支援連携に向けて協力（学内職員対象講演会）  
その他私立大学：次年度出前講座に行く予定  
+社会資源（就労支援・相談機関等）や研修・講演会の情報提供
- ・専修学校等への出前講座「発達障がいの理解と支援」「社会資源の活用」等 → Coが実施

5. 事業実施までの調整等

6月～7月 連携先大学等への事業協力依頼（数か所の大学へ依頼予定）、実施協議  
連携先大学の学生支援担当職員・教員等への講座  
【発達障がい基礎講座、体験談、社会資源（就労支援・相談機関等）】  
連携先大学学生支援室による学内アナウンス、学内での対象者選定・紹介  
仕事体験・企業実習受入れ先企業等の開拓

6. 学生参加者について

①紹介内訳：大学からの紹介3名、エルム個別相談ケース5名

②参加者の経過（抜粋）

- ・事例1：「語ろう会」参加→講座受講→企業見学→12月「語ろう会」参加 →企業見学参加予定  
→学内支援者と就職活動の方向性を考え中 \*学生支援室からの紹介、3回生
- ・事例2：「語ろう会」参加→問題点を整理→職業訓練校（秋季：発達障がい）受験・入校 \*新卒
- ・事例3：「語ろう会」参加後、休学・在宅→こころとからだのWSに参加中 \*2回生

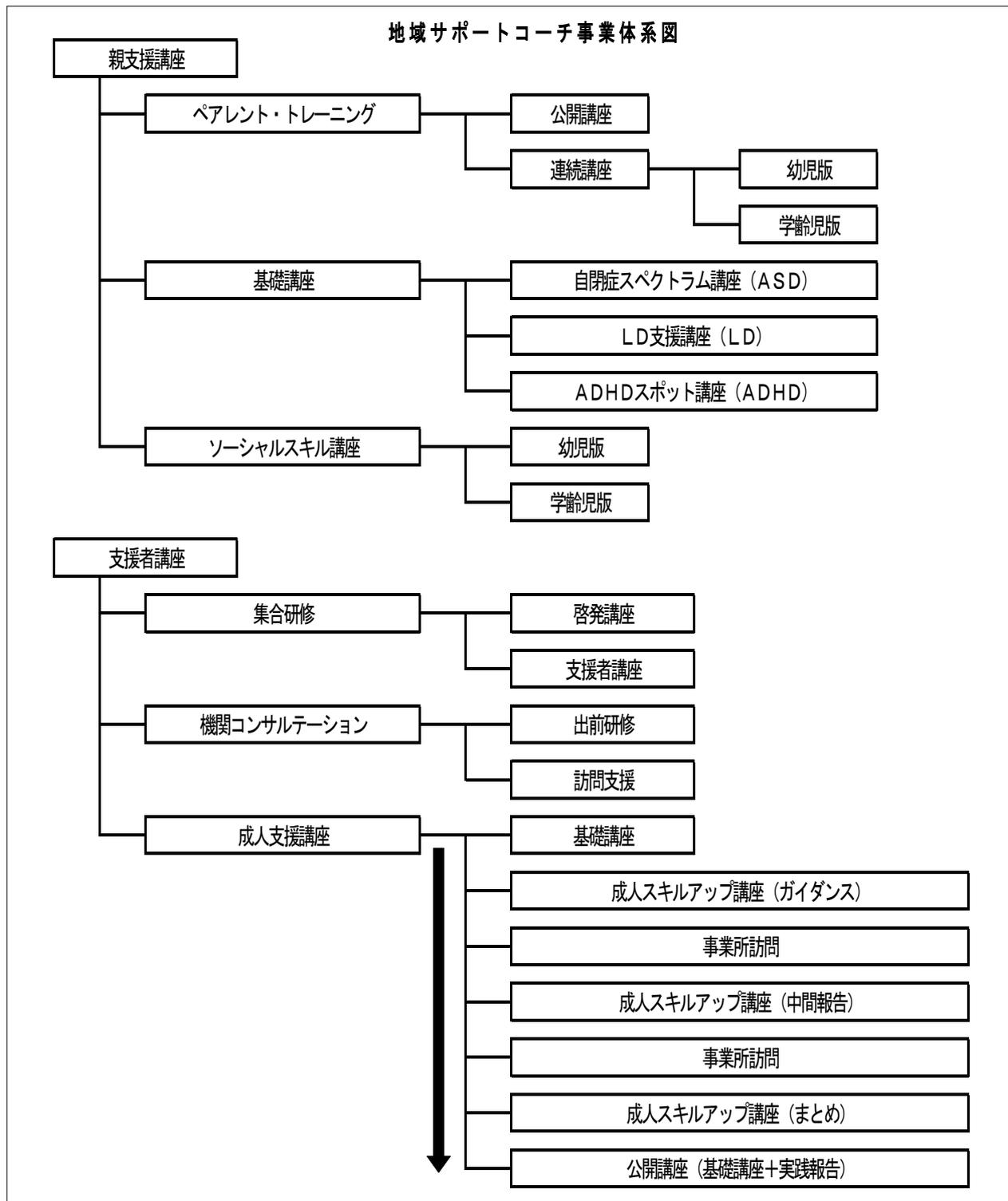
7. 今後の課題

学生：なるべく実習まで参加していただけるよう、実施・募集方法を再考する必要がある。  
大学：「個別事例を通して」と、「組織的に」発達障がいの理解を促す、両方のアプローチが必要。

発達障がい者支援センター（エルムおおさか）による地域サポート体制の強化  
（平成28年4月～平成28年12月）

事業概要

地域サポートコーチ配置し、地域の関係機関・事業所等への啓発・研修・支援、ペアレント・トレーニング等の親支援を実施。



【 取 組 状 況 】

親 支 援 講 座

【1】ペアレント・トレーニング

こどもとのより良い関係をめざし、適切な対応法を学び、話し合い、練習する。

(1) ペアレント・トレーニング公開講座

発達障がいのある児童の特性や対応方法を解説し、特性に応じた対応の重要性を啓発するとともに、ペアレント・トレーニングの目的、概要、実践、効果を紹介することでペアレント・トレーニングの受講を促す。

★実施済み (4回)

日程	会場	参加者数		
		保護者	支援者	計
4/26	西成区役所 (西成区役所共催)	39	34	73
7/26	北区民センター (北区役所共催)	33	35	68
9/6	浪速区役所 (浪速区共催)	33	23	56
12/6	旭区民センター (旭区共催)	49	52	101
計		154	144	298

★公開講座アンケート結果 (回収率83%)

講演内容について (理解度)	人数
大変わかりやすかった	181
わかりやすかった	57
難しかった	2
かなり難しかった	0
無回答	6
計	246

講演内容について (満足度)	人数
大変参考になった	182
参考になった	61
あまり参考にならなかった	1
全く参考にならなかった	0
無回答	2
計	246

【感想・意見】

- ・最近、怒ってばかりでほめていなかったと思います。
- ・子育てに行きづまりを感じていたが、ちょっと希望がもてた。
- ・ペアレントトレーニングのイメージがわかりました。

(2) ペアレント・トレーニング連続講座

こどもの特性を観察して発達障がいの特性を理解し、適切な対応方法を身につけ、こどもの適応行動を増やす。計画表に沿ってテーマを決めて学習・話し合い・練習を行い、ホームワークを自宅で実践する。

★実施中・実施予定 (幼児：6回×6クール、学齢：9回×5クール 計81回)

対象	期間	会場	参加者数
幼児	5/18~7/20	福島区民センター	6
	9/15~11/24	天王寺区民センター	8
	9/28~12/14	クレオ大阪子育て館 (共催)	8
	10/1~12/17	ドーンセンター	6
	1/10~3/21	東成区民センター	6
	1/11~3/22	住之江会館	6
学齢	5/17~10/25 (高学年)	早川福祉会館	8
	5/27~10/28 (低学年)	弁天町ORC200	8
	10/4~2/14 (低学年)	西成区民センター	9
	10/20~2/23 (高学年)	アネックスパル法円坂	8
	8/30~12/20 (思春期)	ドーンセンター	5
計			78

(3) ペアレント・トレーニング フォローアップ講座

ペアレント・トレーニング連続講座を受講された保護者を対象に、講座終了後ある程度の期間が経過した段階で、ご家庭での取り組みや、課題等について再整理・共有し、今後のお子さんへのかかわり方の一助とする目的で開催する。(平成27年度も含む実施済の講座のフォローアップ)

★実施済 (9回)

対象	日程	参加者数
幼児	6/1	3
	6/4	3
	6/15	5
	10/12	4
学齢	4/15	3
	4/23	3
	5/10	1
	5/19	5
	5/24	6
計		33

★現時点での実施予定 (6回)

対象	日程
幼児	2/16
	3/1
	3/18
学齢	2/3
	2/21
	3/14

(4) ペアレント・トレーニング《区役所版》

★実施中・実施予定 (幼児：(5回+フォローアップ1回) ×16区、計96回予定)

実施区	期 間		対象	参加者数
	[連続講座]	[フォローアップ]		
天王寺区	5/6~7/1	10/7	幼児	8
福島区	5/12~7/7	9/15		9
淀川区	5/13~7/8	10/14		7
西区	5/16~7/4	9/5		6
城東区	5/17~7/12	1/13		7
阿倍野区	5/18~7/13	10/5		13
港区	5/19~7/14	10/20		10
北区	6/22~9/21	11/25		10
此花区	9/26~11/28	2/13		7
鶴見区	9/27~11/22	2/21		9
住吉区	9/28~12/7	2/8		11
西成区	9/29~11/24	1/26		10
東淀川区	9/30~12/2	3/3		9
東成区	10/4~11/29	2/7		7
生野区	10/19~12/14	2/22		7
旭区	10/24~12/12	2/20		11
計				141

(5) ペアレント・トレーニング実践報告会

★実施予定 (1回)

日程	会場	内容
3月7日	鶴見区民センター	基調講演・実施報告・体験談

## 【2】基礎講座

### (1) 自閉症スペクトラム講座 (ASD)

「自閉症スペクトラムのお子さんの理解と支援」をテーマに、作業療法士から特性など、言語聴覚士より環境調整など、家庭での取り組み方法を学習する。

★実施中・実施予定 (4回×2クール 計8回)

内容	日程	会場	参加者数 (延べ)		
			保護者	支援者	計
・感覚と運動の視点から ・わかりやすい環境作り ・不器用さへの支援 ・気になる行動の考え方	7/5・7/12 7/19・9/13	大阪産業創造館	67	76	143
	12/13・20 1/10・1/17	弁天町ORC 200	41	30	71
計			108	106	214

★自閉症スペクトラム講座 (ASD) アンケート結果 (回収率86%)

講演内容について (理解度)	人数
大変わかりやすかった	113
わかりやすかった	58
難しかった	5
かなり難しかった	0
無回答	7
計	183

講演内容について (満足度)	人数
大変参考になった	124
参考になった	54
あまり参考にならなかった	2
全く参考にならなかった	0
無回答	3
計	183

### 【感想・意見】

- ・家庭ですぐに実践できそうな内容もあり、とても参考になりました。今まで、集団の中で子どもの不思議だった行動の意味がわかり、自分の中で納得でき、安心しました。
- ・同じ体験をしている方と話せて、一緒に考えるのは勉強になった。
- ・先月に子どもが自閉症スペクトラムの診断を受けたばかりで、まだ、何が何だかわからない状態だったので、参加して同じような行動を起こす子どもさんの話を聞けて、すごく良かったです。

### (2) ことばの指導・読み書き・計算・聞く話す (LD)

学習のつまずきや宿題への対応など、幼児期学齢期の特性に応じた支援や指導方法のポイントについて、講義をうけ、学習する。

対 象：幼児期・学齢児の保護者、支援者

回 数：1回完結

★実施済み (4回)

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
豊かなことばを育むために、幼児期にやっておきたいかわりと支援	7/11	大阪市中央公会堂	27	26	53
読み書き学習でつまずく子どもの理解と指導へのヒント	9/26	阿倍野市民学習センター	35	20	55
算数でつまずく子どもの理解と指導へのヒント	10/17	東成区民センター	32	11	43
聞く力・話す力の理解と指導へのヒント	12/12	西区民センター	26	20	46
計			120	77	197

★ことばの指導・読み書き・計算・聞く話す（LD）アンケート結果（回収率92%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	138
わかりやすかった	36
難しかった	1
かなり難しかった	0
無回答	6
計	181

講演内容について（満足度）	人数
大変参考になった	134
参考になった	42
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	5
計	181

【感想・意見】

- ・子どもへの接し方、関わり方をどのようにすれば効果的なのかを知りたかったので、とても参考になりました。
- ・1歳～の発達について知ることができた事が良かったです。当事者だけでなく、兄弟の発達についても知る事で安心できました。
- ・DVD等含め、具体的なお話を聞く事ができ、とても勉強になりました。日々、多くの子どもと関わる事で、活かしていきたいです。

（3）ADHDスポット講座（ADHD）

ADHDの診断を受けた児童には、身辺自立の苦手さは少ない一方で、急に道に飛び出す、食事中に何度も席を離れるなどの、より注意を要する問題行動が多くみられる。支援者や保護者は強いストレスを感じがちだが、最も困っているのは本人であり、児童によっては自閉症スペクトラム障がいや学習障がいを同時に持っている場合があり、児童の状態に応じた支援が必要となる。本講座では、ADHDの理解を深めていただくために、ADHDの基本的知識や関わり方などのポイントについて、講義をうけ、学習する。

★実施済み（1回）

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
ADHDのある方の特徴と支援	11/6	NLCクリスタグランドビル	45	71	116

★ADHDスポット講座（ADHD）アンケート結果（回収率89%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	52
わかりやすかった	39
難しかった	5
かなり難しかった	0
無回答	7
計	103

講演内容について（満足度）	人数
大変参考になった	61
参考になった	37
あまり参考にならなかった	4
全く参考にならなかった	0
無回答	1
計	103

**【感想・意見】**

- ・子どもがADHDなのですが、まさに言っても響かない、人の話を聞いていたのかわからない感じで、悩んでいたのですが、納得しました。私自身反省する事も多く、ありがとうございました。
- ・とてもわかりやすく、我が子に通ずる話がたくさんあり、とても参考になりました。何より、学校に行かなくてもいいという選択もあると知り、とても気持ちが楽になりました。
- ・具体的なお話をしてくださり、ADHDの方の困り感を知る事ができた。大変有意義な時間でした。

**【3】 ソーシャルスキル講座**

対人関係を円滑にすすめるための具体的行動の身につけ方について、年齢や特性に応じてどのように教えていけばいいのか、家庭での取り組み方法を学習する。

★実施済み（幼児3回×1クール、学齢児3回×1クール 計6回）

区分	内容	日程	会場	参加者数（延べ）		
				保護者	支援者	計
幼児版	幼児期で身に付けたいソーシャルスキルについて	5/16・23・30	大阪研修センター	21	80	101
学齢児版（低学年）	小学校（低学年）で身に付けたいソーシャルスキルについて	6/13・20・27	大阪私学会館	58	46	104
計				79	126	205

★ソーシャルスキル講座アンケート結果（回収率88%）

講演内容について（満足度）	人数
大変参考になった	125
参考になった	49
あまり参考にならなかった	2
全く参考にならなかった	0
無回答	5
計	181

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	124
わかりやすかった	47
難しかった	3
かなり難しかった	0
無回答	7
計	181

**【感想・意見】**

- ・じゃんけん、簡単な事だと思っていましたが本当に色々ですね。今までそこまで深く考えていませんでしたが・・・。掛け声、やり方など少しずつ教えていきたいと思いました。何でも自分の子を知る事を気を付けて接していこうと思います。
- ・グループワーク的な事もあり2時間があっという間でした。説明もわかりやすく参考書の紹介もあり今後に役立てられそうです。
- ・子どもの困っている原因がよくわかってよかったです。

★実施予定（学齢児3回×1クール）

区分	内容	日程	会場
学齢児版（高学年）	小学校（高学年）で身に付けたいソーシャルスキルについて	1/23・30・2/6	阿倍野市民学習センター

**支援者講座**

**【1】集合研修**

**(1) 啓発講座**

区の自立支援協議会や連絡会、発達障がいサポーターなどの講座として発達障がいの基礎的な講座等を開催し、発達障がいの理解促進・啓発を行う。

★実施済み（29回）

対象	内容	会場	日程	参加者数	
市職員	福祉局職員研修	市役所	7/8	63	
			7/11	32	
			7/14	49	
			8/1	43	
市職員	区自立支援担当職員	市役所	9/9	31	
	区生活支援担当職員	生野区	10/25	28	
市職員（市教委連携）	教員研修	東淀川区	8/24	45	
	教員・保護者研修	東淀川区	9/11	30	
当事者・保護者・団体等	区発達障がいサポーター研修	住吉区	8/19	37	
	区民啓発シリーズ講座（地域住民・支援者）	阿倍野区	5/30	92	
			8/25	40	
	市民啓発講座（支援者）	北区	12/14	12	
	平野特別支援学校（教員・保護者）	平野区	7/26	58	
	摂陽中・平野南小・喜連西小PTA（教員・保護者）	平野区	11/11	62	
	通所支援事業所連絡会（関係機関職員・保護者）	住吉区	6/6	19	
	障がい関係事業者連絡会（関係機関職員）	住之江区	9/14	27	
	社会福祉施設連絡会（関係機関職員）	浪速区	11/16	21	
	ケアマネージャー連絡会（関係機関職員）	阿倍野区	11/18	42	
	自立支援協議会（関係機関職員）	都島区	8/2	26	
		住吉区	9/26	43	
	区役所子育て支援室（関係機関職員）	鶴見区	8/9	40	
			10/18	35	
			11/22	40	
	雇用支援ネットワークジョブコーチ養成講座	東住吉区	11/14	24	
	親の会		北区	7/4	49
			平野区	5/24	27
			中央区	7/7	18
			淀川区	10/28	9
	生野区	12/15	36		
合 計				1078	

★アンケート結果（回収率89%）

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	543
わかりやすかった	391
難しかった	21
かなり難しかった	1
無回答	7
計	963

講演内容について（満足度）	人数
大変参考になった	564
参考になった	388
あまり参考にならなかった	4
全く参考にならなかった	0
無回答	7
計	963

**【感想・意見】**

・年齢や理解度別に、具体的な構造化の例を示して頂けて、とてもわかりやすく、参考になりました。家でも簡単に実践できそうなものも多く、早速、取り入れてみたいものもありました。

・障がいのある子どもの様子を実際に体験してみて、子どもの気持ちを知る事ができ、対応や支援の仕方を改めて考え直す事ができました。私は乳幼児の子どもと関わる事が多いため、乳児の時から子ども達がわかりやすい様に、視覚支援で伝えていこうと思いました。

(2) 支援者講座

1. 児童発達支援/放課後等デイサービス支援者向け 基礎講座

発達障がい児の支援に必要な基礎知識を講義を通して学習する。

★実施済み (2回)

内容	日程	会場	参加者数 (支援者)
			発達障がいの理解と支援
	11/16	ドーンセンター	58
計			158

★アンケート結果 (回収率86%)

講演内容について (理解度)	人数
大変わかりやすかった	94
わかりやすかった	38
難しかった	1
かなり難しかった	0
無回答	3
計	136

講演内容について (満足度)	人数
大変参考になった	82
参考になった	53
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	1
計	136

【感想・意見】

- ・考えが間違っていたと感じられるところがあり、気づけて良かったです。
- ・ASD、LD、ADHDについてあまり知らなかったもので、とても参考になりました。
- ・例なども多く、イメージしやすかった。支援者として、どうすればよいかという点についても考えることができた。

2. 支援者向けソーシャルスキル講座

発達障がいのある中高生と成人期の支援者を対象に、ライフステージに応じて必要とされる社会性の指導方法について講義を通じて学習する。

★実施済み (3回)

内容	日程	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
中高生へのソーシャルスキル・ ライフスキル指導方法について	8/1	東成区民センター	4	63	67
	8/24	弁天町ORC200	7	40	47
発達障がいとともに生き大人になっ た当事者を理解し支えること	12/9	新大阪丸ビル別館	4	79	83
計			15	182	197

★アンケート結果 (回収率86%)

講演内容について (理解度)	人数
大変わかりやすかった	69
わかりやすかった	80
難しかった	15
かなり難しかった	0
無回答	5
計	169

講演内容について (満足度)	人数
大変参考になった	74
参考になった	91
あまり参考にならなかった	2
全く参考にならなかった	0
無回答	2
計	169

**【感想・意見】**

- ・今年4月から特別支援教育に携わるようになりました。とても今日は参考になりました。
- ・”子どもにわかるように伝える”と言った視点の内容を教えて頂き、参考になりました。
- ・講座のお話をもっと早く知っていたら、子どもに対するフォローをもっとできたのと思います。こういう講座がある事、本当に困ってからしか知る事ができなかった。

**3. ペアレント・トレーニング トレーナー養成講座**

区役所の支援者を対象として、ペアレント・トレーニングの知識と技術を習得することで、支援内容が、より子どもの個性や発達の特性にあったものへと、充実させていくことを目的として実施する。

★実施済み (2回シリーズ×1クール 計2回)

日程	会場	対象	参加者数
8/9・16	大阪市立リハビリテーションセンター 第1会議室	家庭児童相談員・保健師 心理相談員	15

★アンケート結果 (回収率66%)

講演内容について (理解度)	人数
大変わかりやすかった	9
わかりやすかった	1
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	0
計	10

講演内容について (満足度)	人数
大変参考になった	10
参考になった	0
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	10

**【感想・意見】**

・仕事をしていると、じっくり学ぶ時間が取れないため、研修時間として設けて頂けるのはとても良いと思う。

・実際、ロールプレイをする事で、母の気持ち、子の気持ちに近づけ、納得する部分もたくさんあり、自分もこの研修に参加をしている実感ももちながらできた事が良かった。講師からの講義も系統立てて、色んな事例も通して、勉強になりました。ありがとうございました。

・先生の豊富なご経験をじっくり学ぶ機会を頂いて、ありがとうございました。アツという間の2日間でした”同窓会”ではないですが、半年後など少したってから、もう一度学ぶチャンスがあるといいなと思いました。ありがとうございました。

**【2】機関コンサルテーション**

**(1) 出前研修**

集合研修を聴講したくても、施設の現場から離れることができないなどの支援者のニーズにあわせて、施設等を訪問し発達障がいに関する研修を実施する。

★実施済み (73回)

対象	内容	日程	参加者数
保育所・園	発達障がい基礎講座	5/6	13
		5/7	15
		5/20	13
		5/27	25
		6/15	16
		6/16	6
		6/18	39
		6/21	13
		6/28	24
		6/30	14
		7/22	10
		8/3	23
		9/3	22
9/9	13		

		9/16	26		
		11/17	12		
		12/7	11		
障がい児支援機関（児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所）	発達障がい基礎講座	4/18	9		
		4/22	6		
		4/28	7		
		5/12	6		
		5/26	25		
		6/13	5		
		6/13	14		
		6/16	5		
		6/21	18		
		6/23	6		
		6/28	11		
		7/1	9		
		7/14	12		
		8/20	13		
		9/5	6		
		9/16	5		
		9/24	29		
		9/28	28		
		10/19	4		
			保護者研修会「何でも聞いてみよう」	7/4	21
			パニック時の対応について	9/21	11
	幼児期のことばの発達	10/28	27		
	ソーシャルスキルトレーニングってなあに！	11/11	5		
	問題行動についての理解と対応	11/30	11		
	視覚情報を使った支援について	12/9	9		
青年・成人期支援機関（就労移行支援・就労継続A・B、生活介護、施設入所支援・GH・CH等）	発達障がい基礎講座	5/10	4		
		5/17	5		
		5/20	11		
		5/30	9		
		6/3	11		
		6/6	9		
		6/9	7		
		6/15	10		
		6/25	24		
		7/7	11		
		7/9	18		
		7/11	26		
		7/12	9		
		7/15	7		
		7/16	11		
		7/20	4		
		7/21	8		
		8/10	12		
		8/25	6		
		9/15	12		
		9/16	10		
9/16	10				
10/14	7				
10/28	14				
11/16	4				
	基礎講座+ADHDとASDの違い	6/9	17		
	事例から学ぶ発達障がい	9/14	21		
	発達障がい者への対応	9/28	40		
	事例検討会	10/5	39		
	問題行動への理解と支援	10/27	23		
その他（医療関係者等）	発達障がいを持つ親への接し方	12/5	36		
合 計			1032		

★アンケート結果 (回収率86%)

講演内容について (理解度)	人数
大変わかりやすかった	556
わかりやすかった	309
難しかった	20
かなり難しかった	0
無回答	4
計	889

講演内容について (満足度)	人数
大変参考になった	613
参考になった	271
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	5
計	889

【感想・意見】

- ・障がいについての理解も深まりましたが、実際の利用者に対しての指導のアドバイスを頂けたのが、勉強になりました。
- ・いろいろな利用者さんと重ねて話が聞けて、勉強になりました。
- ・研修、ありがとうございました。お話を聞くと、” そうだよね・・・ ” ” そうだ、そうだ ” と振り返る事ばかり。反省のみです。時折、振り返り、日々の保育に活かしていきたいと思います。

(2) 訪問支援

各事業所等団体に機関支援の一環で訪問し、センターで直接相談のケースではないが支援方針の助言を実施したり、施設運営等の助言を実施する。

★実施済み (延べ213回・134か所)

区分	延べ回数	実訪問か所数
私立保育園	96	50
障がい児通所・入所施設	101	41
教育関係機関	5	2
成人期支援機関 (就労継続支援、A型、B型、生活介護等)	129	48
障がい児・者相談支援機関	20	10
居宅介護事業所	9	4
社会福祉協議会	2	1
区役所 (保健福祉含む)	4	4
その他	14	12
計	380	172

【3】成人支援講座

(1) 成人期支援者スキルアップ事業

①成人支援基礎講座

- ②～④基礎講座に参加の成人期発達障がい者支援事業所 (28年度は5事業所) をモデルに、年3回のコンサルテーションを含め、ガイダンス講座・中間報告会・まとめ報告会を行い、スキルアップを目指す。
- ⑤実践報告会として基礎講座+参加事業所に取組内容を実践報告として発表してもらい、参加者に具体的支援手法を学んでもらう。

☆成人期支援者スキルアップ事業の流れ

①成人支援基礎講座

↓ 成人期基礎講座として、発達障がい者支援のあり方について講演を行い、基礎的な支援の内容を学ぶ機会を提供する。

<実施事業所の募集と選定>

②ガイダンス講座

機関コンサルテーションの参加事業所にガイダンスを行う。講座では、コンサルテーションの意義や、進め方などを説明。参加事業所とコンサルタントの顔合わせ後、コンサルタントより事業所のニーズの集約や課題を明確にし、情報共有したうえで第1回訪問までにコンサルタントが助言等を精査する。

第1回訪問時に施設内を分析し課題点の整理、次回訪問までに取り組む内容等を助言。第2回の訪問の際には助言内容実施後の変化の状況を共有し、必要に応じて評価セッションを行い、その場でフィードバックを実施する。

③中間報告会

各事業所2回のコンサルテーションを実施した結果、事業所内の物理的構造化、環境設定、対応方法等をどのように取り組んだか、また、利用者および支援者にどのような変化があったか等を報告。報告を基に第3回の最終コンサルテーションの方向性を明確化する。

④まとめ報告会

各事業所3回のコンサルテーションを終え、事業所内での取り組み内容や、コンサルテーション実施後の変化について報告。また、実践報告会（3/4予定）での発表に向けて、更に取り組む内容や、これまでに実施した取り組み内容についても整理し、支援の方向性について確認する。

⑤実践報告会：基礎講座＋実践報告

講演と、各事業所より実践報告の発表。次年度に向けて別の事業所に対して本事業の実施する方向性を予告し、次年度の希望施設を募る。

(2) 成人期支援者スキルアップ事業の各講座の実施状況

①基礎講座

★実施済み（1回）

内容	日程	参加者 内訳		
		事業所 (支援者)	本人 家族等	計
発達障がいのある成人期の支援について	5/29	112	24	136

★成人期支援者スキルアップ事業 基礎講座アンケート結果（回収率73%）

講演内容について（満足度）	人数
大変参考になった	51
参考になった	42
あまり参考にならなかった	2
全く参考にならなかった	0
無回答	4
計	99

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	58
わかりやすかった	35
難しかった	2
かなり難しかった	2
無回答	2
計	99

【感想・意見】

- ・日ごろ忙しく支援に関わっているが、距離をおいた客観的な視点で見るコツが理解できて良かった。
- ・具体的な事例から対応策など学べたことで、支援方法の考え方が詳しく知れた。
- ・具体例をあげてくださることで、日常場面での事がすぐにイメージできました。氷山モデルを見て、改めて水面下の問題をしっかり見抜く必要があると思いました。

②ガイダンス講座

★実施済み（1回）

内容	日程	対象	参加者
コンサルテーションの意義等	6/28（火） 13:00～15:00	障がい者支援機関	15

③中間報告会

★実施済み(1回)

内容	日程	対象	参加者
取組内容や成果から今後のコンサルテーションの方向性を明確にする	10/4(火) 15:00~17:00	障がい者支援機関	17

④まとめ報告会

★実施済み(1回)

内容	日程	対象	参加者
取組内容の整理、支援の方向性など	12/6(火) 15:00~17:00	障がい者支援機関	16

【成人期スキルアップ事業の実施状況】

事業所	施設種別(主たる対象者)	対象者の概要・課題点
①	施設入・通所・短期入所 就労継続B・地域支援活動 相談支援が併設された 複合型支援施設	25歳男性 療育手帳A(診断は無いが自閉傾向)  夜間の問題行動を減らしたい
②	就労継続A	27歳女性 アスペルガー症候群疑い  気分が波があり、不安定になると長引く事があり困る 作業に集中できず困っている
③	生活介護 自立訓練	22歳男性 療育手帳A(自閉症)  他害をやめさせたい こだわり行動への対応
④	生活介護	26歳男性 療育手帳A(自閉症)  他の利用者への他害行動をやめさせたい 施設の生活環境の改善をしたい
⑤	生活介護	18歳女性 療育手帳A(自閉症)  排泄時の処理を自立してできるようにしたい

(3) 成人期スキルアップ事業 実践報告会(基礎講座+実践報告)

基礎講座は、自閉症の問題行動に視点を当て、冰山モデル・客観的評価の重要性など自閉症支援に必要とされる支援の着眼点を講義形式で実施予定。

実践報告会は、5事業所より3回のコンサル訪問の経過ならびに、利用者の問題行動がどのように変化したかに視点を向け参加施設より報告する。報告後、担当コンサルタントより講評や助言をもらい、総括として講師より自閉症支援に対して構造化や評価の重要性を提言してもらう予定。

★実施予定(1回)

内容	日程	会場
自閉症支援における問題行動の対応	3/4	大阪私学会館